

国立天文台水沢地区の広報普及活動と 田中館愛橘と思われた写真の誤りについて

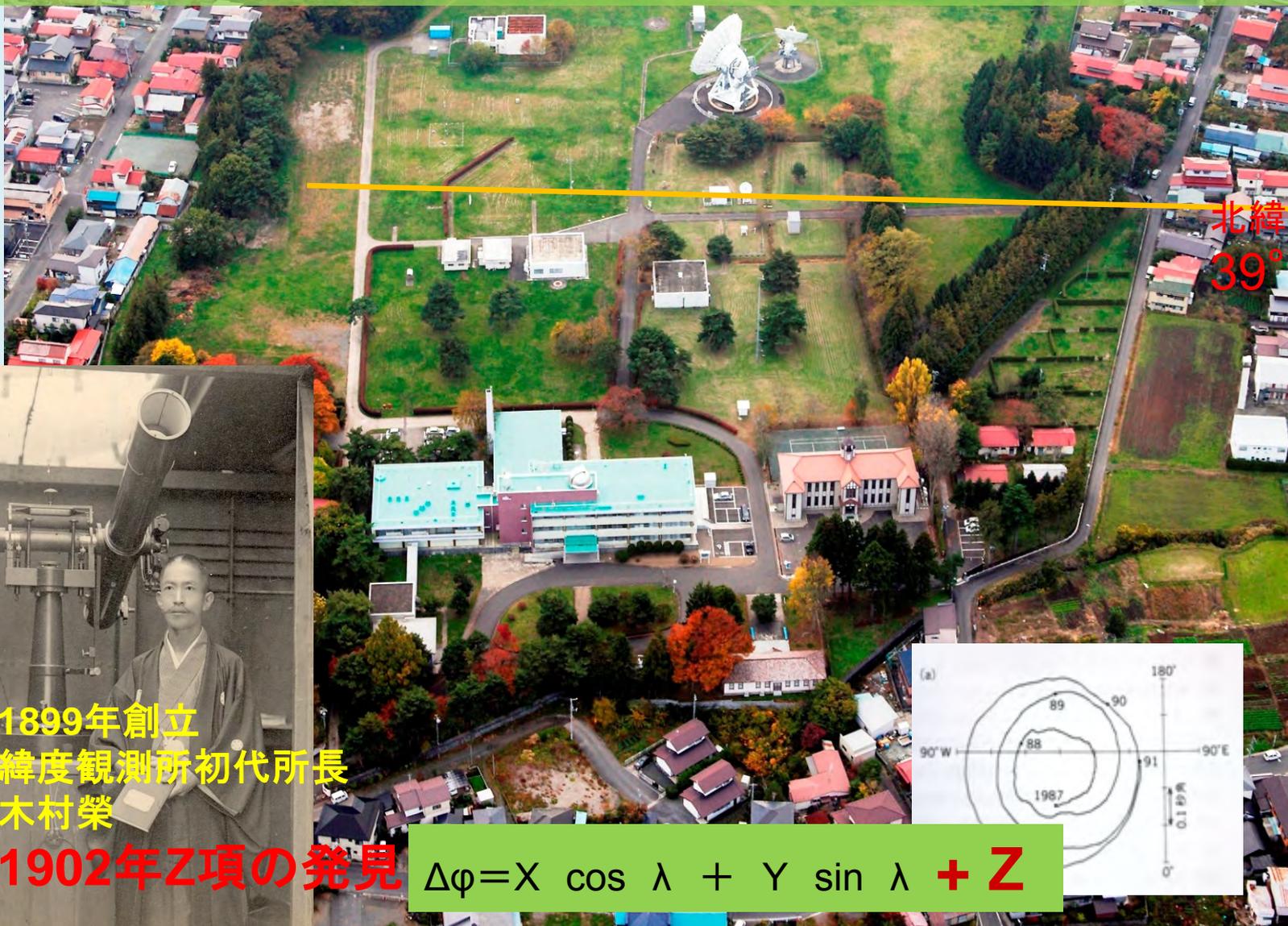
亀谷 収、舟山弘志 (国立天文台水沢VLBI観測所)



ホームページをリニューアル
<http://www.miz.nao.ac.jp/>



国立天文台水沢VLBI観測所

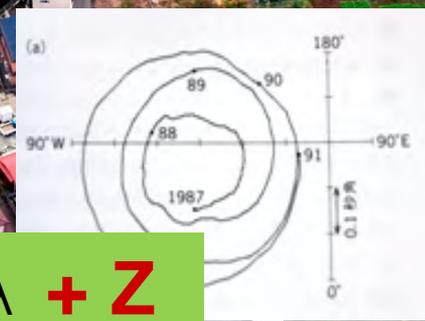


北緯
39° 8'3"



1899年創立
緯度観測所初代所長
木村榮
1902年Z項の発見

$$\Delta\varphi = X \cos \lambda + Y \sin \lambda + Z$$

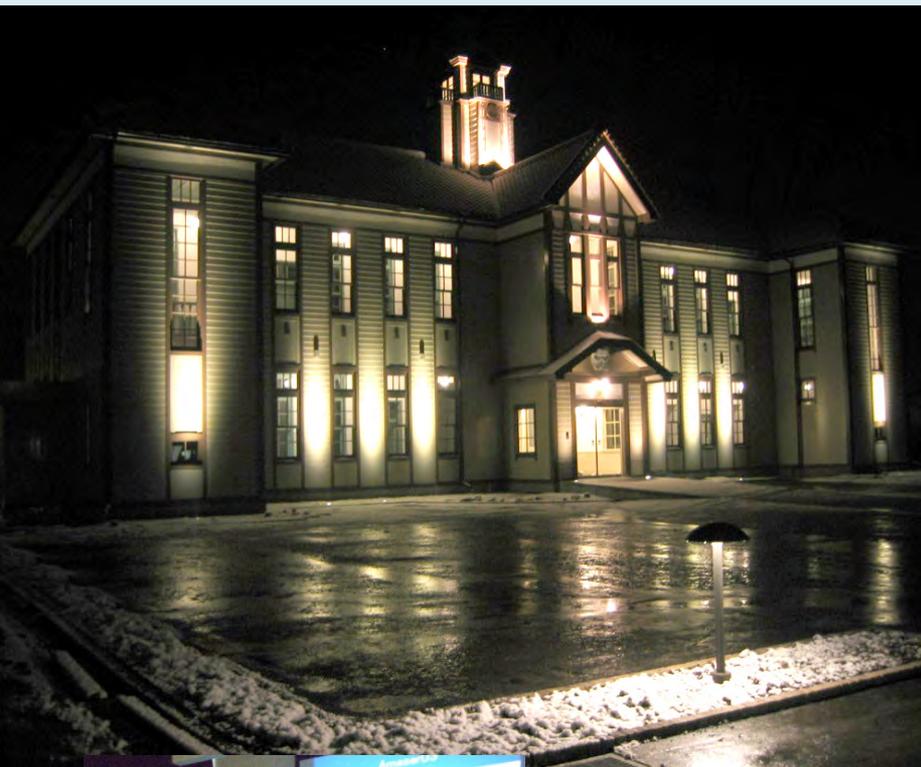


木村榮(ひさし)記念館

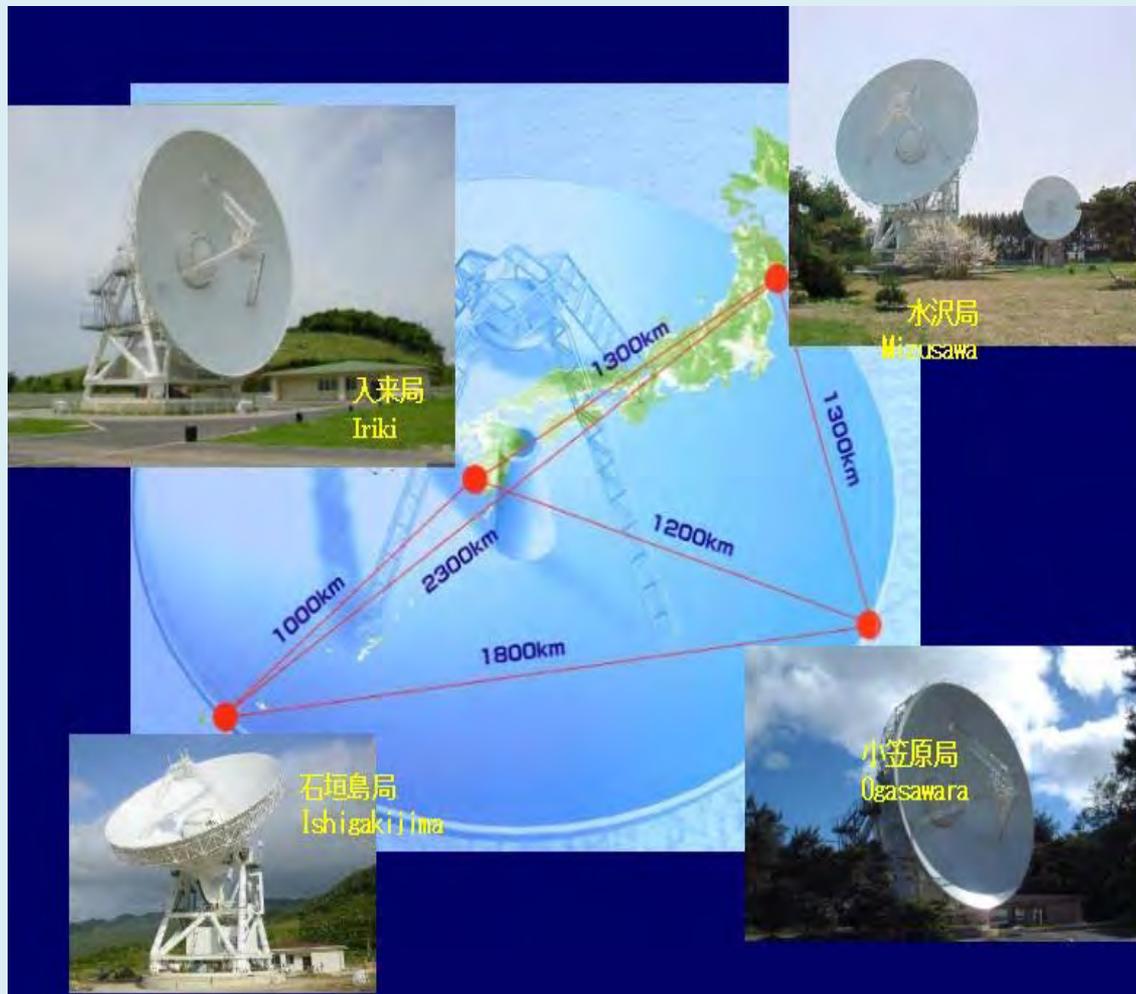




奥州宇宙遊学館 (OSAM): 奥州市

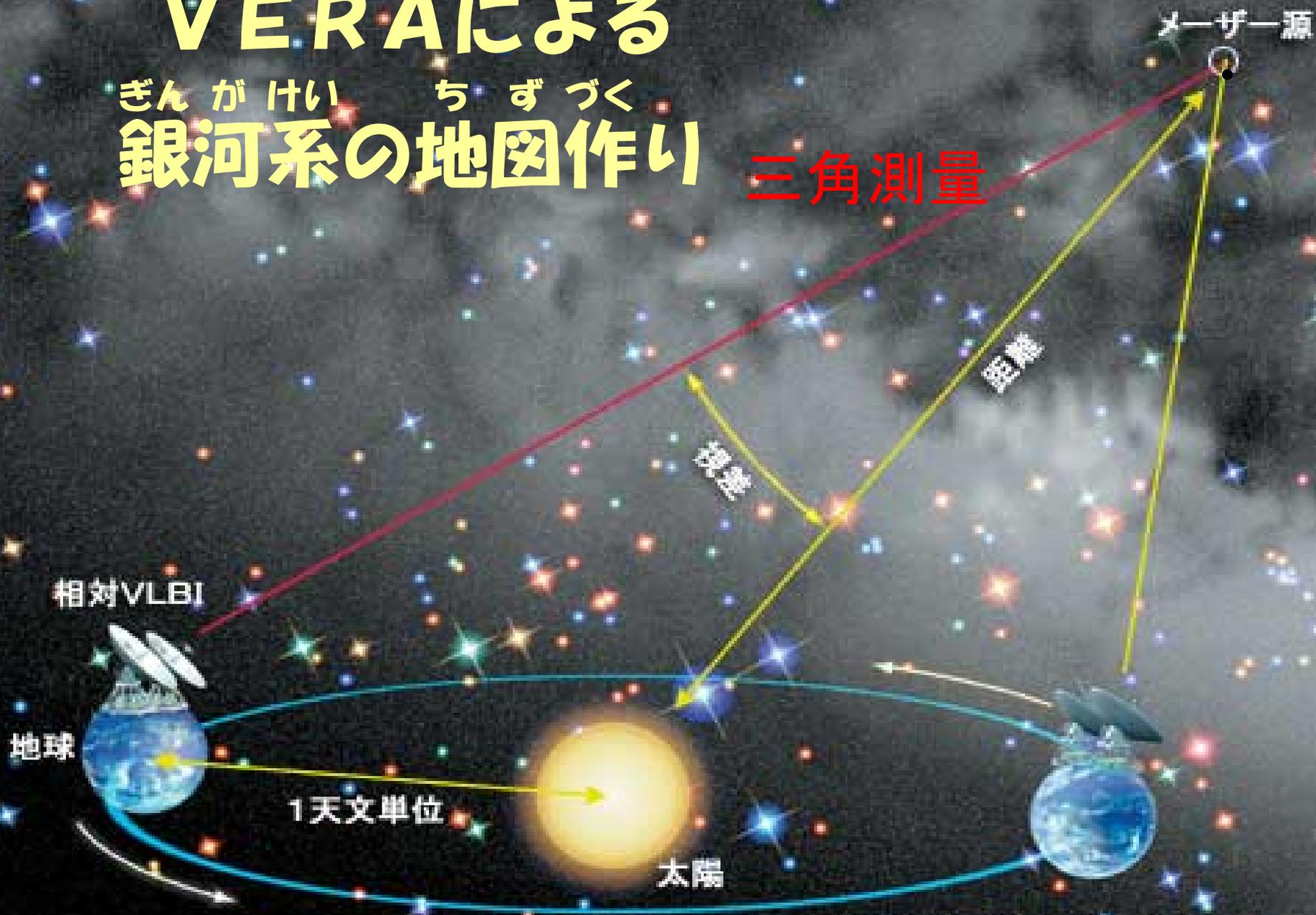


VERAの14年目迎えました



べら VERAによる ぎんがけい ちずづく 銀河系の地図作り

三角測量



「銀河鉄道の旅の始まりです」



2002年に、銀河系の立体地図作りを始めたVERAは、
世界最高の性能を発揮して、
これまで知ることのなかった星ぼしの位置と動きを次々に明らかにしています。
今、私たちは、天の川に沿って、
銀河鉄道の星めぐりの旅を始めたのです。

VERA

VLBI Exploration of Radio Astrometry



銀河系中心

太陽

世界の群を抜く性能で、
最高の成果を生み出す!

●は、VERAで今測定がされている天の川銀河の電波星です。
これから、さらに1,000個以上の星の位置と動きを測り続けて行きます。

三角測量による天体の距離のランキング (2007年現在)

観測天体名	観測装置	観測年	距離
S269 (メーザー天体)	VERA	2007年	17,250光年
Soo X-1 (X線源)	VLBA	1999年	9,050光年
W50H (メーザー天体)	VLBA	2006年	8,650光年
B2021+51 (パルサー)	VLBA	2002年	6,800光年
UX Cyg (メーザー天体)	VLBA	2005年	6,030光年
B0355+54 (パルサー)	VLBA	2004年	3,390光年

2007年7月、私たちは
VERAによる天体の
三角測量で、世界最高
の性能を達成したこと
を発表しました。

冬の星座オリオン星
にあるオリオン星雲まで
の距離を、1,425光年と、
これまでの4倍も高い精
度で測りました。

VERAで測った距離
1,425±62光年



電波星S269の位置を
地球から17,250光年
にあることを示しました。
これは、これまで測定さ
れていた距離の2倍遠
くまでを世界で初めて
測ったことになりました。

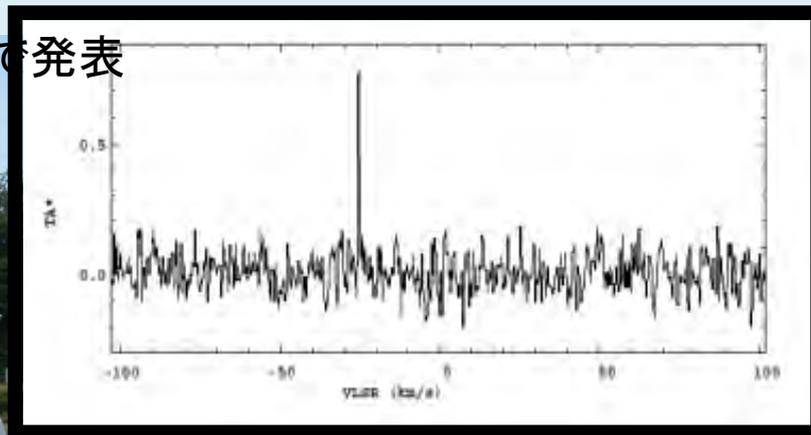
VERAで測った距離
17,250±750光年



国立天文台水沢では、毎年岩手県の高校生 対象に電波天文観測（Z星研究調査隊）を これまで7回実施

第7回2013年8月実施

2013年3月埼玉大で開催された
日本天文学会ジュニアセッションで発表



いわて銀河フェスタ

国立天文台水沢VLBI観測所特別公開

次回: 2014年8月30日(土) 予定



日本宇宙少年団 水沢Z分団 結成20周年記念事業
記念式典と講演会



海部宣男講演会 「地球の生物 宇宙の生物」

日時●平成25年10月5日(土)
場所●奥州市文化会館Zホール(中ホール)

入場無料

プログラム●
(開場 12:30)
【第1部:式典の部】60分
13:00 ~ 14:00
(休憩:15分)
【第2部:講演の部】90分
14:15 ~ 15:45

主催●日本宇宙少年団 水沢Z分団
後援●国立天文台水沢VLBI観測所、奥州市、奥州市教育委員会、
胆江日日新聞社、岩手日報社、岩手日日新聞社
水沢テレビ、奥州エフエム

講演者プロフィール ● 海部宣男 (かいふ・のりお)

国立天文台名誉教授/同元台長、国際天文学連合会長。
1943年生。東京大学教養学部基礎科学科卒業、理学
博士。野辺山宇宙電波観測所やハワイのすばる望遠鏡など
の大型望遠鏡を建設し、ミリ波天文学の開拓、多数の星間
分子などの発見などで仁科記念賞、日本学士院賞を受賞。
科学普及活動にも早くから取り組み、「世界天文年2009」
では日本委員長および国際組織委員。「日本天文協議会」
会長を歴任。子供向け・一般向けの多数の著書がある。



日本宇宙少年 団水沢Z分団 創立20周年



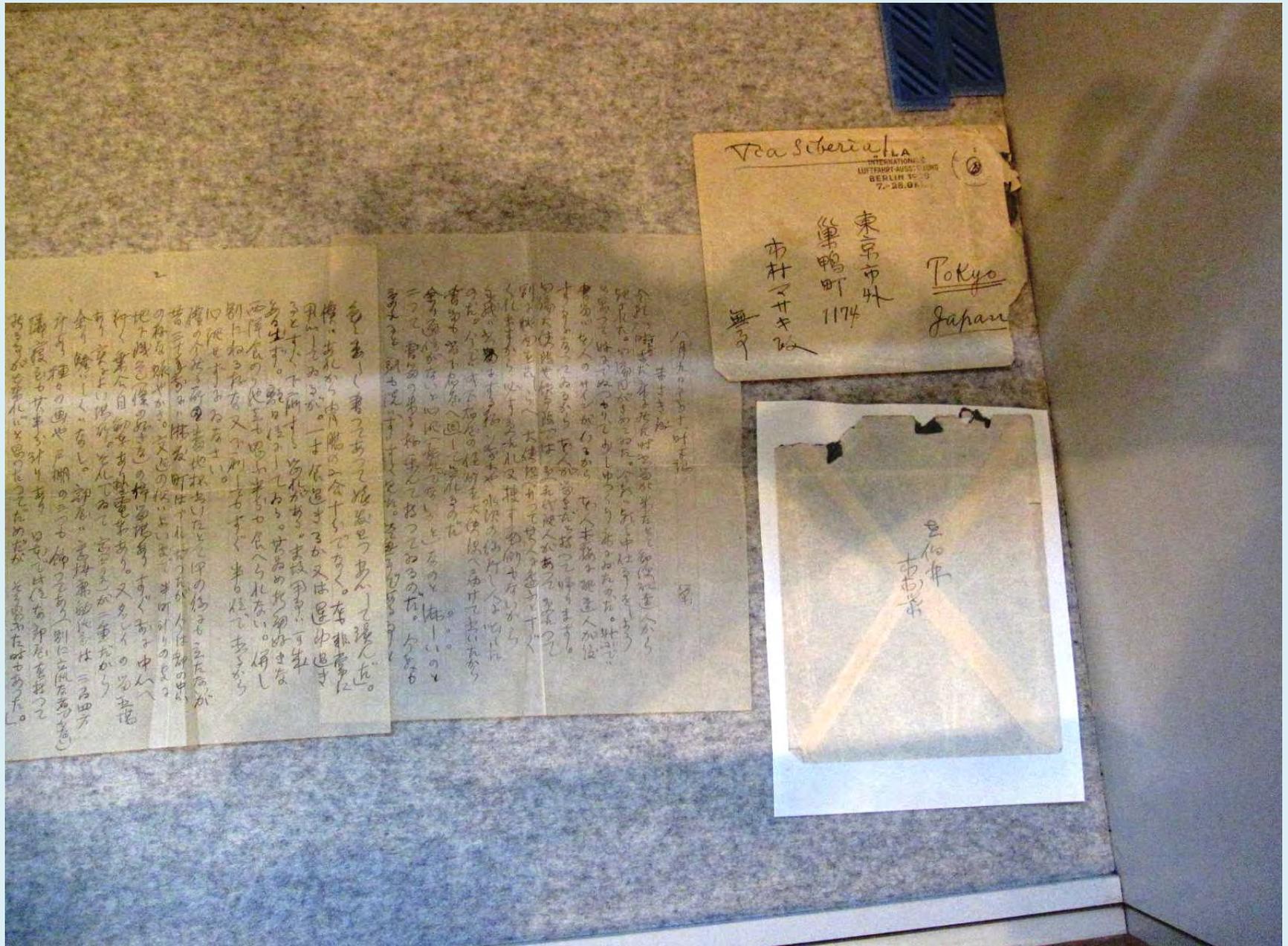
木村榮記念館特別展状況

没後70周年だった。

1. 木村が洋行時の妻と長男にあてた手紙
2. 木村が知人に宛てた手紙
3. 田中館との関係とこれまでの写真の誤り



1. 木村が洋行時の妻と長男にあてた手紙



1928年7月29日
ベルリン

八月九日午前十一時 寸記
まさき 殿 宗

今朝八時一寸前 未だ床に居た時 書留が来たとして 郵便配達人から
起された。勿論目がさめていた。今朝は 朝の中仕事をしよう
と思つて 外にでぬつもりで 少しゆっくり床にいたのだ。外国では
書留は 本人のサインがいるから 本人直接に 配達人が渡
す事になつてゐるから 本人が留守だと持つて帰らうと
勿論大使館や領事館では 受取代理人があつて 受取つて
別に機面をこしらへ 大使館に行つて其人に逢うとすぐ
くれますから 必ず受取れ 又 捜す面倒もないから
手紙は書き留めにする様 お前等や 水沢の役所の人に申した
のだ。今では 此下借家の住所を大使館へ届けて書いて書いたから
書留も 當下宿屋に廻して呉れるのだ
余り通信がないと心配(荷気でないか)となのと 淋しいのと
二つて 書留の来る様 楽しんで待つてゐるのだ。今朝も
受取ると 顔も洗はず すぐ見た 皆無事である事と
色々委しく書いてあつて 嬉しく(笑)つりつ 安心して読んだ。
僕は あれから胃腸の工合十分でなく(右も)非常に
用心してゐるが 一寸食い過ぎるか 又は 運動過ぎ
るとすぐ下痢する恐れがある 夫故用事は可成

毎日生ず 廻日位にしている 其の為折角好きな
西洋食の御馳走も 思う半分も食へられない。併し
別にわる様な 又 下痢してもすぐ 半日位で直るから
心配せずにいなさい
僕の今居る所の番地杯書いたとて 何の役にも立たないが
昔三十年前には 淋敷い町はづれたつたが 今は都の中心
の様な賑やかさ。交通の便はよい処で 半町計りの処に
地下鉄道(僕の好きな)の停留場あり すぐ前に中心へ
行く 乗合自動車あり 軌道電車あり また タクシイの留置場
あり 実によい場所。それでいて 窓(ガラス)が二重だから
余り 騒いしくはなし。部屋は 応接兼勉強室は 三間四方
計あり 種々の画や戸棚の三つも飾つてあり(別に立派な者でもない)
隣接室も其半分計りあり 日本で此位な部屋を持つて
居る事が出来れば と思つたつてだめだが そう思うた時もあった。
お前も大辺よいとの事 結構 お互いに年をとると用心肝要、大事になさへ。
一樹の方も大辺心配している。若い者が弱くては困る。フランスへ来たと云つて
身体を丈夫にしなけれども 金がいくらあつたつてだめだ。
仏国は今一番安心。独国も高い。一樹もひまひまに仏語
を独学せねばいけぬ。鈴木の様な 只用足し丈の仏語
では 折角仏国へ行つたつて無駄だ。仏語勉強して仏語
の小説でも読める様にせなければ 巴里に行つても効能
少ない。僕の子息だ 字問本位で 活動社会に進まな
ければ とも菊池や小山内になれない。「大奮勵すべし」
「身体を健康にすべし」此二つの句が一樹に云う言葉だ
巴里の今なら月百円でも 賃住丈出来るよ
会議の事 心配して呉れたが 今度は昔馴染みの米国人と
田中館先生が 僕の委員会の時来て助けて下さつた
から心丈夫だつた。只 言葉の不十分と耳の遠いのが
困つた。それでも 緯度変化中央局長は 矢張り
僕に当選された。 何よれも 実力だ。 今後一層
奮勵を要するね。 又 南半球万国共同事業で種々の
通信(日本人で出す絵葉書杯を除き)に要する手紙
を書く事の多いので 中々忙しい。 又 郵便料も大した
物だ。 水沢へ帰つても今後暫く忙しい 又所員等)も特に計算課
は 大辺忙敷なるよう
賦司君に逢えないのが残念だが。此手紙の届く頃はまだ
在京と思う。何時もよい仕事が出来て何よりと喜んでゐる。矢張り
手紙が少ない思つたら ロンドンへ出したとの事 夫故今ロンドン

Handwritten notes in Japanese and English, including "Canada" and "British Columbia".

1. 木村が洋行時の妻と長男にあてた手紙

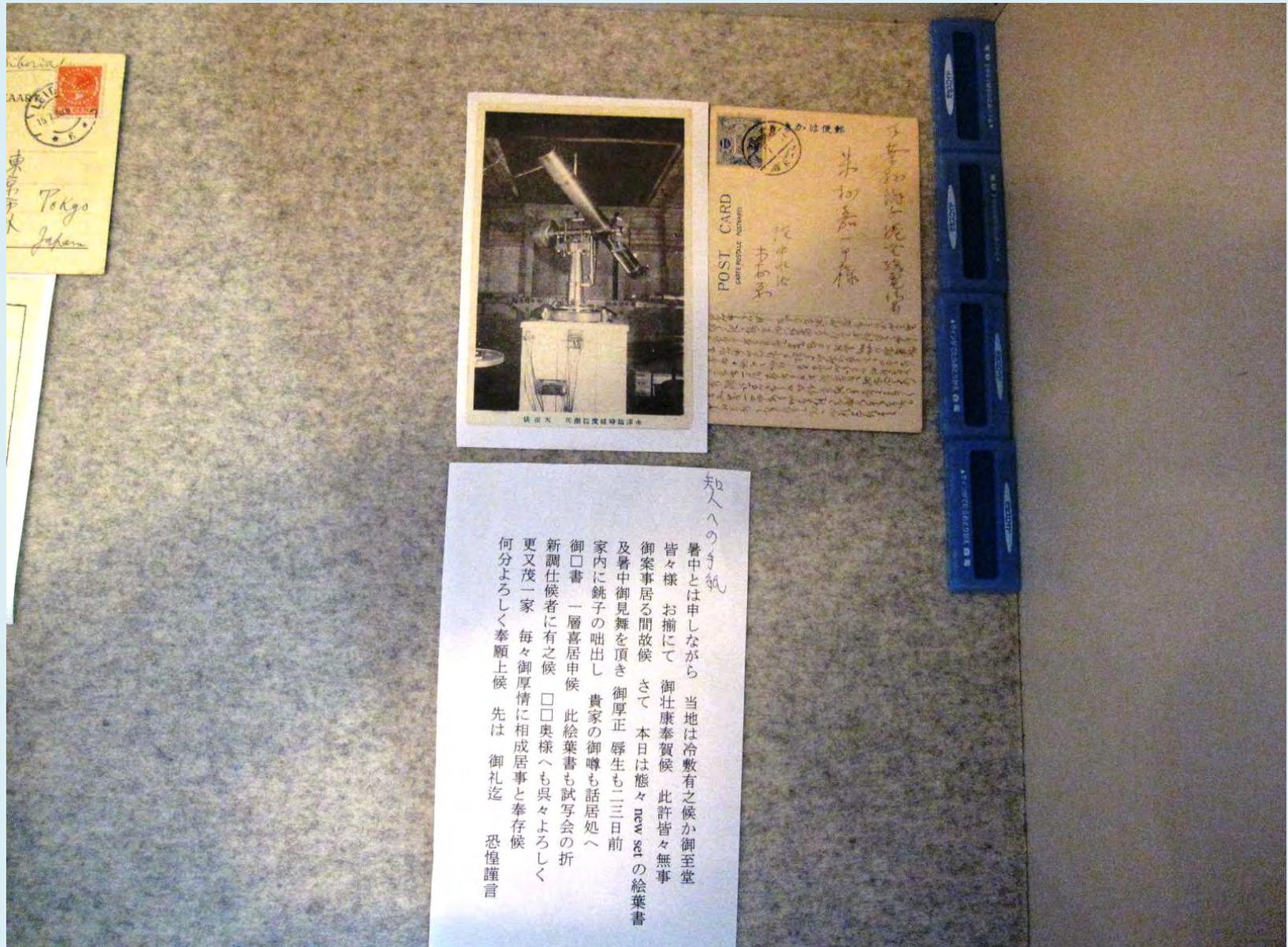


九月九日
木村一樹様
東京市外

其後 御時々の経過如何
心配している。父は先ず
丈夫で昼間は活動して
いる。其代り夜は疲れ寝る
計り何んにも見ない。お前
の注文品ステキよ。他の者が
羨やましがるね。楽しみに
身体がよかつたら勉強なさへ。
どこの国の人もよく若い者も手
初め□□している。よく内の人に
皆んなによろしく 左様なら

1928.7.15
木村一樹様
母さま始め 皆々へよろしく
田中館 平山 両博士のお情で無事
昨十三日 任務を了へた。十七日
の独国天文学大会へ
僕丈出席 それからすぐ
娘さんの処へ行かれ 後
方へ旅行され。田中館さんは一昨日
出発 諸方へ会議へ出席さるる

2. 木村が知人に宛てた手紙



3. 田中館愛橘(たなかだてあいきつ)とされた 写真の誤り



眼視天頂儀をバックに写る木村と
田中館(国立天文台所蔵)



ドイツ滞在中の木村と田中館と考えら
れていた写真(国立天文台所蔵)



寺尾教授在職満25年祝賀会

明治42年(1909年)6月5日

東京大学附属植物園にて

国立天文台アーカイブ室新聞より

田中館愛橘博士と誤解されていた人物

- この人物は実は、岸上鎌吉(きしのうえかまきち)博士(1867年ー1929年)で、日本の動物分類学の基礎を作った動物学者・水産学者です。
(Wikiペディアより 岸上鎌吉)
- 前ページのように、国立天文台アーカイブ室新聞に、寺尾東大教授在職満25年祝賀会(1909年6月5日)に3人が同時に写った写真が残っています。比べてください。田中館博士と同様にあごヒゲがありますが、岸上博士のは黒々としていて、全く別人であることがよくわかります。

まとめ:

- ・緯度観測所1899年に開所
- ・現在は国立天文台
水沢VLBI観測所
- ・木村榮(ひさし)記念館での公開
Z項発見から112年 木村榮とZ項を広めたい
- ・奥州宇宙遊学館との連携公開 次回は8月30日
- ・Z星研究調査隊での高校生の快挙
- ・田中館愛橘と思われていた写真は岸上鎌吉氏の誤り
だった。
- ・日本宇宙少年団水沢Z分団創立20周年迎えた。